

CSPCへの署名付きSSL証明書のインストール

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[設定](#)

[使用するコンポーネント](#)

[コンフィギュレーション](#)

[ファイルをCSPCにインポートする](#)

[インストール](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)


はじめに

このドキュメントでは、ユーザまたは認証局(CA)によって署名されたSSL証明書をCSPCにインストールする方法について説明します。

前提条件

要件

- .keyファイル (署名するCSRファイルの作成中に生成されます)
- .crtファイル (.keyファイルと一致し、ユーザまたはCAによって署名された証明書)
- CSPCへのルートアクセス

 ヒント: .crtファイルの代わりに.cerファイルを使用することもできます。これらのファイルは、インストールする.crtファイルに変換できます。

設定

使用するコンポーネント

- CSPC (テスト済みバージョンは2.7.x 2.8.x 2.9.xおよび2.10.x)
- FTPクライアント (WinSCP、Filezilla、MobaXtermなど)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

コンフィギュレーション

ファイルをCSPCにインポートする

1. FTPクライアントを使用して、.crtファイルと.keyファイルを/home/collectoroginにインポートします。

1.1 .cerが提供されている場合は、ファイルを.crtに変換します。(<name>はファイル名で置き換えます)。

```
openssl x509 -inform DER -in <名前>.cer -out localhost.crt
```

```
openssl x509 -inform DER -in <name>.cer -out rui.crt
```

前のコマンドでエラー (証明書を読み込めないなど) が発生した場合、このコマンドを使用します。エラーのプロンプトを表示できません。

```
openssl x509 -in <name>.cer -out rui.crt
```

インストール

2. キーストアを作成します。

```
openssl pkcs12 -export -in localhost.crt -inkey localhost.key > localhost.p12
```

3. CSPCのキーストアにインポートします。

```
/opt/cisco/ss/adminshell/applications/CSPC/jreinstall/bin/keytool -importkeystore -srckeystore localhost
```



注 : パスワードの入力を求められます。常にcspcgxtです。

4. インポートされたことを確認します (2つのエントリが存在します)。

```
/opt/cisco/ss/adminshell/applications/CSPC/jreinstall/bin/keytool -list -v -keystore $CSPCHOME/webui/to
```

5. 前の別名を削除します。

```
/opt/cisco/ss/adminshell/applications/CSPC/jreinstall/bin/keytool -delete -alias tomcat -keystore $CSPC
```

6. エイリアスが1つしか存在しないことを確認します

```
/opt/cisco/ss/adminshell/applications/CSPC/jreinstall/bin/keytool -list -v -keystore $CSPCHOME/webui/to
```

7. エイリアスをtomcatに変更します。

```
/opt/cisco/ss/adminshell/applications/CSPC/jreinstall/bin/keytool -changealias -alias 1 -destalias tomc
```


8. CSPCサービスを再起動します。

バージョン2.7.xおよび2.8.xの場合：

```
service cspc restart
```

バージョン2.9.xおよび2.10.xの場合：

```
systemctl cspc restart
```

 注意:CSPCのアップグレード時にSSL証明書が削除される可能性があるため、.keyファイルと.crtファイルを保存し、再インストールが必要になります。

確認

CSPCログイン画面に移動し、アドレスバーの左側にあるロックを選択して、証明書を検査します。

トラブルシューティング


再起動後、バージョン2.9.xと2.10.xでTomcatに関する問題が報告されました。GUIが起動しない場合：

1. 再起動後にtomcatサービスが起動していることを確認します。

```
service tomcat status
```

2. 「Active: activating (start)」というメッセージが表示された場合は、サービスが起動するまで5～10分待ってください。それ以外の場合は、手動で起動します。

```
service tomcat start
```

 ヒント：問題が解決しない場合は、リードに連絡するか、コメントを共有してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。